

経営比較分析表（令和2年度決算）

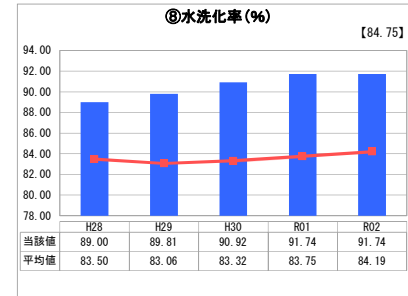
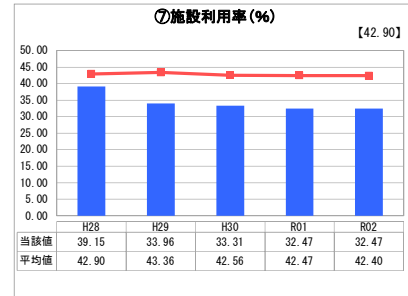
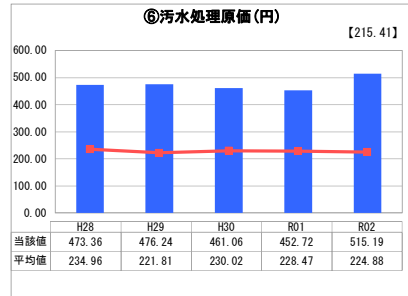
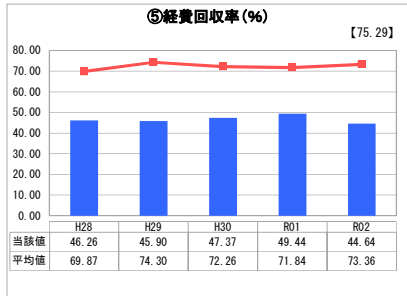
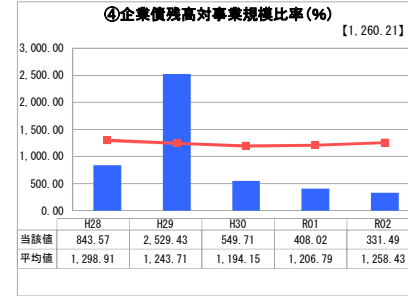
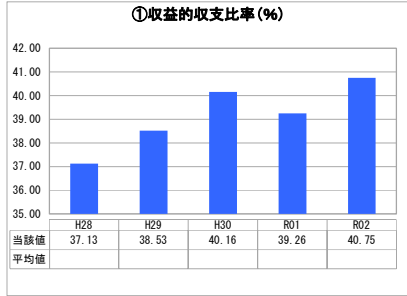
北海道 天塩町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	75.27	102.40	4,220

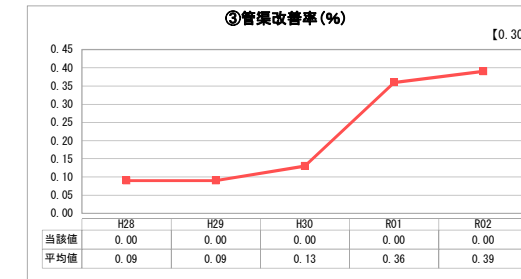
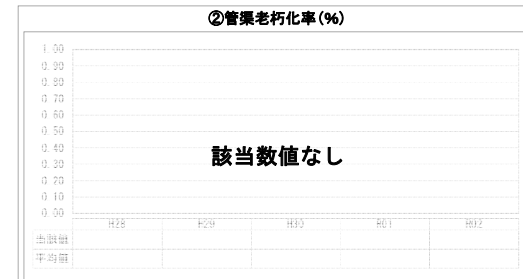
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,973	353.56	8.41
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,228	1.48	1,505.41

分析凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 令和元年10月より、下水道使用料金の改定を行いました。今後も総収入・総費用に変動があることから、比率は増減することが予測されます。
- 前年に引き続き、下水処理場の改修工事が引き続きことから、今後も増加する傾向にあると見込んでいます。
- 平成26年度より償還元金に対する繰入金の一部を基準内繰入金として計上しており、類似団体平均値と比較すると当該団体値は低く示されていますが、今後も下水使用料について分析を進めていきたいと考えます。
- 類似団体平均値より高い傾向を示していることから、汚水資本費・汚水維持管理費の圧縮に努めながら、未接続家屋に対する下水道接続の推進を図っていきたく考えています。
- 当該団体値と類似団体値を比較すると大幅な乖離は見受けられませんが、今後も引き続き下水道未接続家屋に対する指導・助言を実施していかねばならないと考えています。
- 全国平均よりも高い数値を示していますが、生活環境の改善と水質保全のため水洗化率の向上に取組みます。

2. 老朽化の状況について

当町の下水道処理場は、平成12年度より供用開始され20年が経過した状況です。

施設の維持管理・運営において、故障により施設の運転が長期に停止するような著しい被害はありませんが、日夜、稼働している設備等の一部には、緊急的に修理や交換が必要になる場合もあり、職員が不在時にも対応できるように遠隔監視システムを導入し、不測の事態に備えています。

令和元年度には、下水道施設全体を対象に点検・調査を行い、必要な修繕・改修箇所を洗い出し優先順位付けし、長期的な視点に基づく施設の維持管理計画を策定し、本計画を元に現場の状況を注視しながら、これまでと同様に安心安全なライフラインの提供に努めていきたいと考えています。

全体総括

当町の下水道事業は「特定環境保全公共下水道」にあたり、地域の生活環境を改善するとともに水質保全に努める目的があります。

将来にわたり、私たちや次の世代が安心安全な生活を営むことができるよう、大切なライフラインの維持管理を推進していかねばなりません。

令和6年度から公営企業会計を導入するため、令和3年度より事業を開始したところであり、安定的な下水道事業の経営に資する目的のため、人口規模に見合った設備投資を行い、使用料収入等の推移にも注視し経営改善に努め、経営の健全性・効率性を高めていきたいと考えます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。